

# 個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	新見警察署		所在地	新見市新見389-1		
敷地面積	4,488.67 m <sup>2</sup>		棟数	4 棟 (計画記載対象 1 棟)		
延床面積	2,465.20 m <sup>2</sup>			※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	新見市を管轄区域とする警察署					
<b>【想定される自然災害】</b>						
予想震度		5弱	津波	—	浸水	1.0m以上2.0m未満
建築規制	非線引き都市計画区域、準工業地域 建ぺい率60% 容積率200%					
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)		
	189,901 kwh	154 m <sup>3</sup>	870 m <sup>3</sup>	1,745 0		
管理上の 特記事項	敷地内未利用地なし、敷地内貸付地なし					

## 1 施設内建物の概況

名称	本館棟				
築年(西暦)	2003年				
構造	鉄筋コンクリート造 4階				
建築面積	577.57 m <sup>2</sup>				
延床面積	2,097.16 m <sup>2</sup>				
主要な用途 (室名等)	執務室 7室 275.01m <sup>2</sup> 会議室 4室 193.48m <sup>2</sup> 道場 1室 164.66m <sup>2</sup>				
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 昇降機				
利用状況	高				
耐震性 ※1	有				
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—			
	中性化 ※3	—			
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適			
	地盤沈下 ※5	適			
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし				

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物は、修繕、改修を行い、使用を継続する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館棟	設備等の定期更新を行う。

### 3. 施設全体のスケジュール

#### (概要)

劣化の進んだ設備等について、順次更新を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館棟	設備等の 定期更新 (修繕・改修を含む)							外壁			
								照明LED化			

### 4. 概算費用

--

## 5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R6.3	本館棟の照明LED化を追加